

マーケットの動き（2025年9月15日～9月19日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。
週前半は、FOMC（米国連邦公開市場委員会）への警戒感から米ドル売りが優勢でした。その後、FRB（米国連邦準備制度理事会）が利下げを決定すると、一時145円台まで円高が進みましたが、米国長期金利の上昇を受けて、日米金利差の拡大を意識した円売り・米ドル買いが優勢となりました。
ユーロは前週末比、対円・対米ドルで上昇しました。

投資環境見通し（2025年9月）

円に対して米ドルは徐々に下値を切り下げ、ユーロは弱含み

米ドル：米国関税政策を巡る不確実性が後退し、投資家のリスク選好の動きが広がる中、ドルは円に対して当面は底堅く推移するとみています。ただし、その後はFRB（米国連邦準備制度理事会）による利下げ観測、一方で日銀による利上げ観測と日米金融政策の方向性の違いが意識されるとみられ、ドルは円に対して徐々に下値を切り下げるとみています。

ユーロ：域内各国の財政拡大政策は景気にプラスとみられますが、金融政策についてECB（欧州中央銀行）は様子見姿勢とみられる一方で日銀による利上げ観測を背景にユーロは円に対して弱含みで推移するとみています。

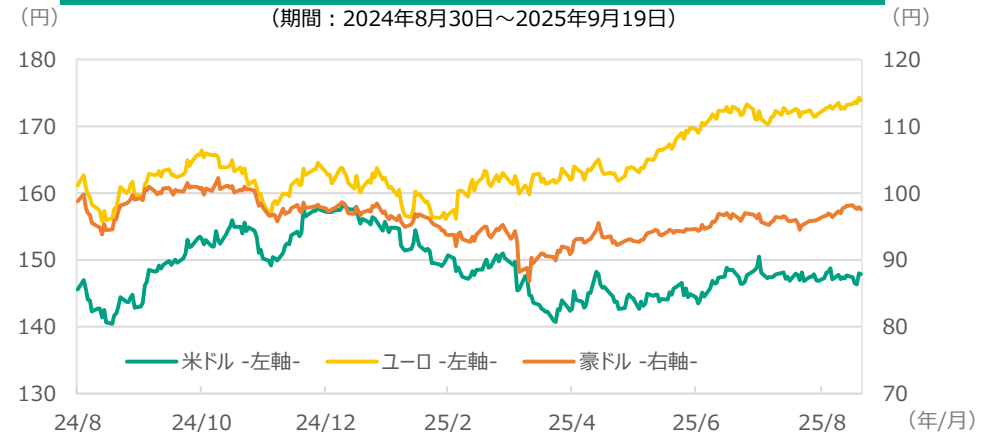
	9月19日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	147.89	0.21	0.15	▲2.15	4.96
ユーロ/円	173.88	0.70	1.44	10.69	14.82

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

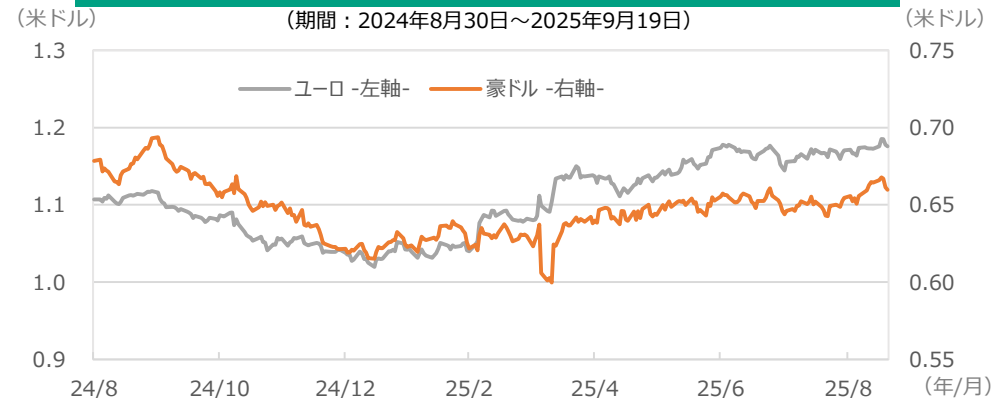
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202509_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>